

## 宮崎教室通信 特別号 森の学校

8月8日～10日の日程で「森の学校」を、丹沢の国民宿舎「丹沢ホーム」を中心として実施しました。すでにホームページでも報告もしていますが、あらためて教室通信として3日間の様子をまとめたいと思います。

**8月8日(月)** 7時に中央林間駅に集合。残念な

ことに小6生の2名が急な発熱で参加できず。8時に秦野駅に集合。8時20分発の臨時の神奈中バスにてヤビツ峠に。良い天気です。ヤビツ峠は標高が761メートル。ここで今日のガイド役の丹沢自然保護協会の会長でもある丹沢ホームの中村さんともうひとりの渋谷さんと合流。私たちが2班に分かれて大山登山に向かいます。途中、人工林と自然林の違い、登山道に咲く花、動物の糞の中にどんな種が混じっ



ていて、それが植物の生息域を広げていることなどを学習します。大山まで2/3ほどを登ったと



ころで突然の雨。このまま頂上に登ってもお弁当も食べられないのでヤビツ峠に下山。ここでお昼。12時にヤビツ峠発。全員で6kmの道のりを丹沢ホームまで歩きます。途中、水が湧き出しているところが何カ所もあり、冷たい水でノドをうるおしたり、顔を洗ったり、中には全身に水をあびたりして全員が歩き通しました。部屋割りをして早速に川へ出かけます。350メートルほど沢を登っていくと堰堤の滝があります。みんなテンション最高潮で水遊びです。さらにホームの近くの川に戻ってから水遊びは続きます。岩から飛び

込んだり、ひたすら水をかけあつたりと続きました。沢の水は冷たく、長くは水の中には入れられないのですが・・・ 18時に夕食。その後、中村さんの「丹沢の森と生き物」についてのお話を19時～20時まで聞きます。丹沢ホームの位置の航空写真。その周りには自然林の森は少なく、人工林の森がほとんど。どうしてなのか？ そこから70年前の戦争時の話へ。もみの原生林が何に使われ、その森を守った人の話。人工林にはどうして生き物たちが住めないのかの話。それでも丹沢の森は50パーセントが自然林。まだまだ生き物たちを育むことができる。とはいっても、増えすぎた鹿は駆除されている。鹿はたべものがなくて母鹿の乳に栄養がない。だから子鹿が成長できない。小さい鹿は寿命が短く、自然の摂理で子孫を残すために子どもの数を増やす。そして人里に下りていく。



きれいな川とにごった川の話。にごった流れは川の周りの森が荒れているから。そして、ブナの立ち枯れの問題に。さらに、丹沢の動物たちがキャンパーの置いていったゴミを食べて死んでしまった話や、飲み残しのペットボトルの中で死んだモグラのことへ。21時半には就寝。みんな頭も身体もつかいづくしてぐっすりです。



**8月9日（火）** 6時に起床。周囲を散歩して体操。7時30分から朝食です。下界は35度をこえる気温とのこと。ここは最高気温が25度とさすがの涼しさです。9時から今日の学習会です。「溪畔林の役割」について、中村さんや京都からわざわざきていただいた講師の方の話聞きながら、実際に水生生物を採取しながらの勉強です。



日陰をつくり、昆虫などのえさを供給し、生き物の生息場所も提供しています。溪畔林のしっかりした沢から流れる水は、台風の後にもごりません。網を持って水生生物の採取にうつります。流れの速いところ、流れの遅いところ、深いところ、浅いところと、様々な場所で採取してみます。カジカガエル、そのオタマジャクシ、沢ガニ、ヒキガエル、ミズスマシ、ブドウ虫・・・たくさんの生き物がとれました。もちろん、どんなところに多様な生き物がいたかもわかりま



した。

午後は養魚場まで歩きながら丹沢の森について学習しました。そんな中、シカに遭遇したり、なんと「クマタカ」を中村さんが遠くの木の上に発見。望遠鏡を出していただきみんなでのぞきました。クマタカなんて一生のうちに1度出会えるかどうかという鳥です。ホームに戻って再び水遊び。夜は学習会。丹沢についてみんなでアクティブラーニングでした。



8月10日（水） 最終日です。今日は予定を変更してみんなで「二の塔～三の塔」を登山します。1日目のリベンジです。80分ほどのすべて登りの登山でしたが、元気に頂上へ。70分ほど



で下ってから、昔のスキー場の跡地とその植生回復の様子を見学。ハングライダーの発射場も見ました。14時にヤビツ峠をマイクロバスで出発。中央林間には17時過ぎに到着でした。子どもたちにとっては、神奈川県 naturally の豊かさと、そうした森が、自分たちが毎日見ている山々にあること。シカや熊やクマタカなどの動物たちがそこからみんなを見ていることをこれからは感じてくれるはずです。来年は今年参加できなかったみんなもぜひとも参加してください。最後に。丹沢の森に感謝です。



〈みんなの感想〉 ほんの一部です。みんなしっかり丹沢の森を学習しましたね(^\_^)

- \*「あぶらちゃん」という木の实をつぶすと、油がでてきて、ちゃんと油のにおいがした。
- \*戦争の時「もみの木」で特攻の舟を作って戦った。
- \*人工林/スギ、ヒノキ。自然林/ブナ、モミ、サルナシ、フサザクラ、ヤマホウシ。
- \*シカのお母さんは栄養不足で乳がよく出ない。子どもは大きくなれない。
- \*クマは人を怖がる。だから驚かさなければ人を襲ったりはしない。
- \*クマタカを見た。すごくカッコよかった。丹沢の森の生態系の頂点の動物。
- \*サルナシはニュージーランドに渡って品種改良されてキューウィーになった。
- \*人工林は日光が地面に当たらないので下草が生えず生き物のえさがない。
- \*丹沢の森は人工林が 50 パーセントで自然林が 50 パーセント。
- \*溪畔林は川の水をきれいにし、氾濫も防いでいる。
- \*校歌に「大山」が入っている理由がわかった。登れなくて残念。
- \*浅くて流れがゆるいところには生き物がたくさんいた。
- \*クマが食べたものが運ばれて糞となって種が広がっていく。クマが森を作る。